

2023年度

事業計画書

一般社団法人関青年会議所 2023年度スローガン

**変化を乗り越え、
最高の結果に変える。**



一般社団法人関青年会議所 2023年度
理事長所信

理事長 森 有生

はじめに

昨今は1年周期で目まぐるしい変化が起こります。直近では世界中を脅威に陥れた新型コロナウイルスの影響がありましたが、3年経った現在でも私たちに影響を与えています。昨年にはロシアによるウクライナ侵攻が発生し多大な被害を与え続けており、このような事態が本当に起きているのかと目を疑う程でした。現在の私たちに戦争という現実はなく想像のできないものになっていますが、それは諸先輩方が辛い過去から学び、次世代に同じような悲しい経験をさせたくないという強い気持ちが現在の平和な日本を残してくれたからです。しかし、現実には今もなお紛争を続けている国や地域が多くあります。メディアで報道されていることだけで無く、平等な目線で物事を考え、そして行動に移していくことが賢明です。

私たち、関青年会議所は1957年に発足し、今年度で創立66周年を迎えます。私は2010年度に入会し、今年度で14年目になります。社業に専念するために2009年に地元に戻ってきましたが、関青年会議所の事業を通じて多くの先輩方と関わり、色々な経験をさせて頂きました。奇しくも私の社業である祖父が創業した会社も関青年会議所の発足年と同じ1957年に創業しております。いわば、関青年会議所と弊社は同じ年となります。私が社業を愛して尽力をし続けるのと同じように、関青年会議所にも思い入れがあります。この団体がこの先も繁栄していくよう尽力していきます。

現状を知ること

関青年会議所の所属メンバーは、1970年代から1990年代では常時100名を超える会員数で推移をしていました。私が入会した2010年には60名程の会員数でしたが、当時は会員数の多さ、そしてまだ20代前半で地元に戻ってきて社業に注力し始めたばかりの私には、多くの経営者と関わることが刺激的でした。地元の有力企業の経営者や、普通に生活していれば出会うはずの無い方たちと集い、関青年会議所メンバーとして同じ目的に向かって議論し、実践し、実行した事業を振り返ってはまた次に活かすという一連の流れが非常に魅力的でした。社業では社長の一声で決まってしまうような事業も、この団体では何度も議論を重ねなければ実行に移せません。常任理事会や理事会が行われる度に資料を作り直し、時には深夜遅くまで議論をしたこともありました。会員数が多い時には様々な意見が有り、多くの時間を使って議論をすることも度々ありました。しかし、現在の会員数は20名程に縮小しており現状に合わせた時間の使い方、議論の仕方、運営の方法が求められています。

私たちの直近の反省点としては時代が変化しているのにも関わらず、やり方を変えていかなかったという過去があります。そのもどかしさ故に会員を辞するメンバーも多くいたことは紛れもない事実です。時代は常にスピードを求められる世の中になっています。私たちも変化をしなければならない時期に突入しており、その対策が急務です。

子供の減少が国の重要課題とされているのと同じように会員数減少は最重要課題です。通年で会員拡大を行うこととし、同じ志を持った地域の青年経済人を巻き込んでいきます。メンバーと共に限られた時間の中で最大限の結果を発揮できるような仕組みに変更し、関青年会議所の更なる発展の起点となるように決意を持って取り組んでいきます。

未来を担う子供たちのために

子供たちは、日本の未来を支えていく存在です。それはこの先もずっと続いていきます。子供が多くなれば地域も活性化し人口も増えます。様々なニーズも増え結果的には税収も見込めるようになります。本来であれば子供が増えていくような政策を行っていかねばなりません。その点は行政や国が担っています。私たちができることは、子供たちが大きくなって地元を離れて就業した際にも、いずれは故郷に戻ってきて地元企業で働いたり、地域のために慈善活動等に積極的に参加してくれるような郷土愛を幼少期から育むことです。しかしながら、昨今の新型コロナウイルスの影響により、子供たちの活動は中止や延期となる事業が多く、常に被害者になってきました。学校行事もさることながら、部活動やスポーツ活動、地域行事までもが中止になり、健全な育成ができなかった時期がありました。子供たちには様々な実体験をもとに新たな可能性を感じて欲しいと願っています。

それがわんぱく相撲なのか、JCカップなのかは問いませんが普段関わることの無い人たちと時間を共にする

ことにより学べることが多くあります。先の社会情勢が読めないという事情もありますが、本年度も子供たちと地域を巻き込んだ事業を開催したいと考えております。

昨年に行った JC カップ in 関やわんぱく相撲の様に、いち早く開催を決定し地域の手本となるように率先して事業を行う姿は非常に頼もしく勇敢でした。

事業が失敗すれば批判もあるかもしれませんが、地元の子供たちのために批判も承知で取り組むような熱い気持ちがあっても、私は何もおかしいとは思いません。

冷静に物事を判断し、変化を恐れず果敢にチャレンジしていきましょう。

まちの魅力の再認識と再発掘

我々が住む関市は岐阜県の中濃地域に位置し山間に囲まれた地域であり、平成 17 年の合併により 12 の自治体と隣接する自治体となりました。山間地域であるからこそ良質な焼刃土や水と炭が豊富に得られ、刃物の歴史は鎌倉時代から始まっています。その歴史は脈々と受け継がれ、先輩諸兄弟のご尽力により今では世界三大刃物産地と言われるようになりました。そのような魅力的な歴史がある町であるにも関わらず、情報発信が少ないために関市民にすら認知度の低いまちの魅力も多く存在しているのが現状です。私もこのまちに長年住んでいますが、幼い頃はまちの魅力について考えることはありませんでした。今では小学生からまちの魅力を学ぶ授業が行われるようにはなってはいますが、まちづくりを行う団体として、改めてまちの魅力を認識する必要性が有り、まだまだ情報発信が出来ていない魅力を再発掘し地域の方々に伝えていく必要があるのではないのでしょうか。地域のために、そして地元愛を育てるためにも、まちの魅力の再認識と再発掘を行い、情報発信し鎌倉時代から続いている関市の歴史を次代に伝えていきます。

地域を盛り上げる青年経済人として

私自身も地元である関市に本社を構えて社業を行っておりますが、業務の中で出会う経営者は私よりも目上の方が多く、若い経営者が減少していると感じています。同世代の青年経済人が少ないのは悲しい事態であり、地域経済にとっても良い事態ではありません。私自身が関青年会議所に入会した時、多くの青年経済人が会員として所属していましたが、時が流れるにつれて同世代の青年経済人が増えることはありませんでした。一つの事例として、事業承継が上手くいかず地元に戻ってこない、または地元で社業に努めているがまだまだ事業承継まではいかず、いつの間にか青年としての時代を通り越してしまう場合等が考えられます。様々な事情で問題を抱えている地域経済ですが、まず私たちができることは、所属している会員同士で切磋琢磨し、社業にも良い影響を与え事業拡大や利益改善に繋げていくことです。

会員同士の業種は様々ですが、経営者としての悩みは同じようなものを抱えています。

お互いの悩みや弱みを共有することで、改善策や打開策を見出せるようなお互いに良い影響を与え続ける関係性でありたいと思います。まずは社業で成果を出すこと、そして関青年会議所の活動でもその経験値から良いムーブメントを起こし切磋琢磨していきましょう。その後、同調してくれる仲間が増えていくことを望んでいます。

結びに

私は関青年会議所に入会し、色々な経験をさせて頂きました。事業を通じて意見で衝突する事や、喜びを分かち合ったこともありました。多くの先輩と後輩が出来て、自分自身の人脈も広がりました。所属 LOM を飛び出せば、岐阜ブロックや東海地区ではまた違う感覚を持つ JC メンバーと知り合うことも出来ました。この大きな団体に所属する事で、普通にしていれば知り合わなかったはずの人たちと出会うことができたのは私にとって人生の大きなアドバンテージになっています。この団体を通じて成長させて頂いたと感じることが多いのですが、それに反して会員数が減少しているというのは悲しい事実として真摯に受け止めています。少なからず、今のままの関青年会議所では現状を打開することはできません。以前と同じような運営では一人当たりの所要時間がかかり多くなってしまい、次年度に引き継いでいくことができなくなっています。今のままでは会員が疲弊し、モチベーションの低下に繋がります。この状況を打開するには、現状を知り、今やれることに重点を置きスピード感を持って関青年会議所を運営し、結果を出していくことです。私は社業の繁栄と同じように関青年会議所の繁栄を強く望んでいます。

今年は変化の始まりです。次世代に良い影響を与えられるように大切なメンバーと共に挑んでいきます。

私たちがまちに良い影響を与えることができれば、関青年会議所も社業も繁栄し、そして地域経済にも良い影響を与えることができると信じています。

変化を恐れず、限られた時間の中で最大限の結果を出していきましょう。

2023年度 一般社団法人関青年会議所

役員名簿

【 理 事 長 】	森 有生
【 直 前 理 事 長 】	多田 幸泰
【 副 理 事 長 】	山田 信之
【 監 事 】	田中 雄貴
【 専 務 理 事 】	浦田 悠宇
【法務・財務担当理事】	丹羽 智彦
【 事 務 局 長 】	大石 将也

総務委員会 【委員 長】 佐藤 孝昭

社会開発委員会 【委員 長】 新海 宏太

【副委員 長】 西村 健太

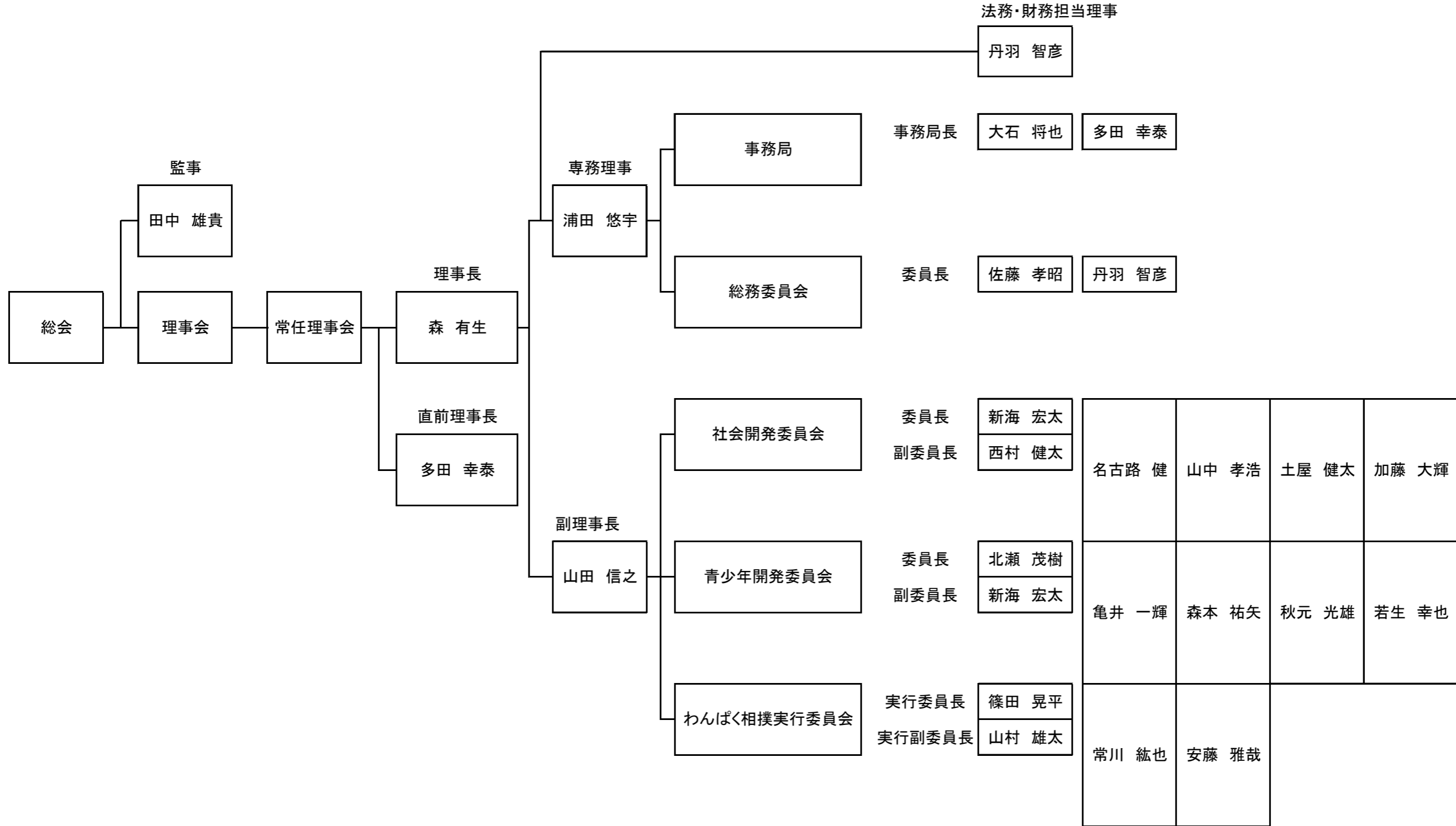
わんぱく相撲実行委員会 【実行委員 長】 篠田 康平

【副委員 長】 山村 雄太

青少年育成委員会 【委員 長】 北瀬 茂樹

【副委員 長】 新海 宏太

一般社団法人関青年会議所 2023年度組織図



2023 年度 出向者名簿

公益社団法人日本青年会議所 東海地区 岐阜ブロック協議会

公益社団法人日本青年会議所 2023 年度東海地区協議会
とうかい号フィナーレ事業特別室
財政審査特別委員会

副会長 田中 雄貴
委員 山中 孝浩
副委員長 北瀬 茂樹

公益社団法人日本青年会議所 2023 年度東海地区
岐阜ブロック協議会

会長 田中 雄貴
運営専務 多田 幸泰
事務局長 丹羽 智彦
財政局長 北瀬 茂樹
事務局員 山中 孝浩
事務局員 名古屋 健
事務局員 新海 宏太
事務局員 土屋 健太
事務局員 西村 健太
事務局員 篠田 晃平
事務局員 加藤 大輝
事務局員 佐藤 孝昭
委員 森本 祐矢
委員 山村 雄太
委員 大石 将也

組織連携推進会議
アカデミー委員会
岐阜ブロック大会 2023 実行委員会

2023年度 公職出向者名簿

(公職出向先)

関市まちづくり協議会	関市共生学校づくり推進委員会
関市社会福祉協議会	中濃特別支援学校 学校評議員会
関市観光協会	関市障がい者就労促進協議会
せき親善大使選出委員会	関市民健康福祉大会・フェスティバル拡大実行委員会
関市国際交流協会	刃物のまち関シティマラソン実行委員会
関市青少年健全育成協議会	関市民花火大会実行委員会
関市長良川鉄道協力会	せき・まちかど工房運営委員会
関市交通安全対策協議会	関市行政改革推進審議会
関市男女共同参画懇話会	関市廃棄物等減量推進協議会
一般社団法人関市スポーツ協会	関市総合計画審議会
関市いじめ問題対策連絡協議会	関市環境審議会
命をつなげる会 中濃	関市都市計画審議会
関市子ども文化事業委員会	関市自治基本条例推進審議会
発明協会関支会	
関商工 学校評議員会	関有知高校 学校議員会

(出向者)

理事長	森	有生
直前理事長	多田	幸泰
専務理事	浦田	悠宇
副理事長	山田	信之
法務財務担当理事	丹羽	智彦
総務委員長	佐藤	孝昭
実行副委員長	山村	雄太
事務局長	大石	将也

2023 年度（一社）関青年会議所

委員会事業計画

総 務 委 員 会

社 会 開 発 委 員 会

わんぱく相撲実行委員会

青 少 年 開 発 委 員 会

総務委員会事業計画書

【専務理事】 浦田 悠宇
【委員長】 佐藤 孝昭

【委員】 丹羽 智彦

【委員会運営及び事業方針】

本年度の総務委員会は、関青年会議所すべての事業の計画から実施そして報告に至るまで、担当委員会と関わり活動していく中で限られた時間を有効に活用するためスピード感を重視し、その効果が最大限発揮できるようにしていきます。そして関青年会議所の組織運営をするための重要な役割を担っていることを自覚し各事業の成功につながるようその責務を全うしていきます。

会議資料の確認では、常任理事会及び理事会が円滑かつ充実した会議となるように資料をチェックいたします。また、各事業が理事長の所信に則した事業計画であるか、その目的を達成するための手法は的確であるか、コンプライアンスの厳守に努め、予算計画は適正かつ効果的に組み込まれているかを熟考し、その上で各委員会と連携を取りながら、ただ否定するだけでなくどうしたら資料がより良くなり事業へとつないでいけるのか、作成したメンバーと共に考えていきます。議事録においては、会議内容を簡潔明瞭にまとめ、次回以降の会議を有益なものにして頂けるようにいたします。

総会の運営は、関青年会議所全てのメンバーの意思をもって決定を行う最も重要な場であり、滞りなく粛々と議事が進められるようスムーズな進行、設営に取り組んで参ります。

理事セミナーでは理事となるメンバーに事業を計画する上での基礎知識を学んで頂き、次年度理事として大いに活躍して頂けるよう企画運営いたします。

広報活動では公式サイト、SNSを活用して関青年会議所の活動について外部に広く認知して頂けるよう魅力的な内容にして発信していきます。

長期政策連絡会議では、今後の課題や問題点が見つかり組織の中で必要な変化がメンバーから求められた際、当会議所での長期に亘って活動していけるよう会議の場を設けます。

最後に、2023年度の総務委員会は各委員会に寄り添い、共に事業を担っているという責任をもってサポートし、今あるメンバーの戦力を存分に発揮させ、一人ひとりの個性と長所が混ざり合うことで関青年会議所に素晴らしい変化を起こせるよう活動していく所存です。一年間どうぞよろしくお願いいたします。

【事業計画】

事業名	内容（目的・方法等）
定時総会（1月例会）	2022年度事業報告書及び収支決算等の承認、 2023年度事業計画書及び収支修正予算の決定等 総合基本資料、会員名簿の作成
2、3、8、9、11月例会	セレモニー例会
臨時総会（7月例会）	2024年度役員承認、当初予算等の決定、 2023年度補正予算の決定等
常任理事会及び理事会資料チェック	常任理事会及び理事会資料及び事業報告書の総括チェック
理事セミナー	次年度理事予定者に対するセミナー
会員及び事業の褒賞	会員及び事業の褒賞
慶弔に関する事項	慶弔に関する庶務一般
公式サイト管理・運営	公式サイト管理・運営
長期政策連絡会議の運営	LOM・委員会活動等の今後の方向性に関する会議の設営

【事業予算】

事業名	予算額	予算明細
定時総会（1月例会）	¥0	
臨時総会（7月例会）	¥0	
2、3、8、9、11月例会	¥0	
常任理事会及び理事会資料チェック	¥0	
理事セミナー	¥0	
臨時総会	¥0	
会員及び事業の褒賞	¥0	
慶弔に関する事項	¥0	
公式サイト管理・運営	¥0	
長期政策連絡会議の運営	¥0	
合 計	¥0	

【委員会年間スケジュール】

月	委員会活動	内容
1月	定時総会（1月例会）	(通年) 常任理事会及び理事会資料チェック 慶弔に関する事項 会員拡大 公式サイト管理・運営
2月	2月例会	
3月	3月例会	
4月		
5月		
6月		
7月	臨時総会(7月例会)	
8月	8月例会	
9月	9月例会、理事セミナー	
10月		
11月	11月例会	
12月	臨時総会	

社会開発委員会事業計画書

【副理事長】山田 信之
【委員長】新海 宏太
【副委員長】西村 健太

【委員】名古屋 健 山中 孝浩
土屋 健太 加藤 大輝
亀井 一輝 森本 祐矢
秋元 光雄 若生 幸也
常川 紘也 安藤 雅哉

【委員会運営及び事業方針】

今日、小学生の時からまちの魅力を学ぶ授業が行われるようになってきました。子供たちをはじめ、関市に住んでいる皆様が地元愛を持って発信していくことで、より多くの方が関市を訪れ、まちは発展していきます。本年度、当委員会はこのまちを活性化していくために、市民の方々が関市に住んでいることを誇れるようなまちの魅力を発掘し、それを周知していく必要があります。

10月例会では関市の魅力を発掘し発信する事業を行います。現在、地場産業である刃物産業をはじめとして幅広い魅力が関市にはあります。しかし古くから職人が支えてきたこのまちにはまだ他にも魅力が眠っているのではないのでしょうか。まちの魅力が多ければ多い程発信力が高まり、魅力同士がかけ合わさればより強く光るものと考えます。市民の方々にはその魅力を広報し、印象に残るような経験になれば、評判は評判を呼び、よりまちは活性化します。我々は市の内外問わず、より多くの人にまちのことを知って頂けるように活動してまいります。

12月例会では卒業例会を行います。今年度は卒業生が7人と多く、皆一様に関青年会議所に貢献してきた方々です。そんな彼らの卒業を祝い、活動の功績を称え、厳粛に卒業式を執り行うようにいたします。

最後に2023年度、関青年会議所は岐阜ブロック協議会の会長輩出LOMであり、例年のない緊張感の下、運営がなされていきます。しかしそんな状況でもLOMにおいて自身の使命と役割を認識し、40歳までの限られた時間の中で精一杯自分の力を鍛えることができる団体になるよう邁進してまいります。そして委員会メンバーが12月の終わりに、成長の充実感を以って終えられる委員会活動にしていきたいと思っておりますので1年間、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

【事業計画】

事業名	内容（目的・方法等）
10月例会	まちの魅力を発掘し、広報する事業
12月例会	卒業証書授与式

【事業予算】

事業名	予算額	予算明細
10月例会	¥450,000	会場設営費、企画演出費
12月例会	¥38,000	会場設営費
合 計	¥488,000	

【委員会年間スケジュール】		
1月		(通年) 会員拡大及び取りまとめ
2月		
3月		
4月		
5月		
6月		
7月		
8月		
9月		
10月	10月例会	
11月		
12月	卒業例会	

わんぱく相撲実行委員会事業計画書

【実行委員長】 篠田 晃平

【実行副委員長】 山村 雄太

【委員】 名古路 健 山中 孝浩

土屋 健太 加藤 大輝

亀井 一輝 森本 祐矢

秋元 光雄 若生 幸也

常川 紘也 安藤 雅哉

【委員会運営及び事業方針】

急速に少子化が進む現在の日本では、これまでよりも大人が1人あたりの子供に関わる時間が増えています。目が行き届き、子供の安全を配慮できるなどメリットが多いものの、過干渉など子供の健全な育成にデメリットが生じるものも少なくありません。1つの例として、子供たちの活動の中で、成功ばかりにこだわり失敗する可能性が高いことへの挑戦が消極的になっています。しかし成功だけではなく、失敗の経験も子供たちの成長過程において大切です。自己肯定感を高め、何事にも挑戦する気持ちを育む事が重要になります。

そこで、本年度わんぱく相撲実行委員会は、子供たちの自己肯定感を高め、挑戦する気持ちを大切に考えられる事業をいたします。わんぱく相撲はどのような結果であっても、相手と真剣に向き合うことで相手を思いやる気持ちの大切さ、試合前の緊張に打ち勝つ強い気持ちなど、学べるものが多くあります。さらに過程を重視する姿勢が、試合後に子供たち自ら考えられる力の育成にも繋がります。そうしたわんぱく相撲の経験が、子供たちの今後の生活においても、様々なことに挑戦できる気持ちを育みます。

また、第28回わんぱく相撲岐阜ブロック大会では、参加する子供たちが自分なりの目標を設定し、納得のいくパフォーマンスが発揮できるよう伴走支援します。

さらに、わんぱく相撲全国大会への出場が決定した子供たちには、全力で挑戦できるように一人ひとりの気持ちを大事にサポートします。

最後に、わんぱく相撲関係場所開催には、全メンバー皆様の協力が必要です。コロナ禍においても、わんぱく相撲関係場所がより地域の皆様から愛される事業となるよう、先輩方にもご協力を仰ぎ、メンバーからのご意見・ご指摘を尊重し、全員で一丸となり支え合いながら実現していきます。皆様のご理解、ご協力賜りますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

【事業計画】

事業名	内容（目的・方法等）
5月例会（第37回わんぱく相撲関場所）	子供たちの自己肯定感を高め、挑戦する気持ちを大切に考えられる例会
6月例会（第28回わんぱく相撲岐阜ブロック大会）	主管：（一社）郡上青年会議所
第38回わんぱく相撲 男子全国大会	主催：（公財）日本相撲連盟 （公社）東京青年会議所
第4回わんぱく相撲 女子全国大会	主催：（公財）日本相撲連盟 （公社）新発田青年会議所
例会出席者の把握	例会出席者の把握

【事業予算】

事業名	予算額	予算明細
5月例会（第37回わんぱく相撲関場所）	¥350,000	会場設営費等
6月例会（第28回わんぱく相撲岐阜ブロック大会）	¥30,000	登録費等
第38回わんぱく相撲 男子全国大会	¥85,000	登録費等
第4回わんぱく相撲 女子全国大会	¥70,000	登録費等
合計	¥535,000	

【委員会年間スケジュール】

事業名		通年事業
1月		(通年)
2月		
3月		
4月		
5月	5月例会（第37回わんぱく相撲関場所）	
6月	6月例会（第28回わんぱく相撲岐阜ブロック大会）	
7月	第38回わんぱく相撲 男子全国大会	
8月		
9月	第4回わんぱく相撲 女子全国大会	
10月		
11月		
12月		

青少年開発委員会事業計画書

【副理事長】山田 信之
【委員長】北瀬 茂樹
【副委員長】新海 宏太

【委員】名古路 健 山中 孝浩
土屋 健太 加藤 大輝
亀井 一輝 森本 祐矢
秋元 光雄 若生 幸也
常川 紘也 安藤 雅哉

【委員会運営及び事業方針】

昨今の新型コロナウイルスの影響により子供たちは、様々な活動を制限されてきました。特に大人数で行うサッカーや野球、ラグビーなどのチームスポーツを行う機会が減少し、子供たちの成長の機会が減少しています。また少子高齢化や生活様式の多様化、高度情報化社会の進展により人や地域と関わる機会が減少し、郷土への理解や関心も低くなることが懸念されています。これは、心身の発達段階にある青少年期において大きな問題です。スポーツ活動は単に体力を養うだけでなく人間形成の観点からも効果が高く、子供たちを取り巻くスポーツ環境の充実が必要です。

スポーツの舞台で挑戦し続けるアスリートの姿は、これまでも多くの場面で人々に勇気や感動を与えてきました。このように人の感情を揺れ動かすことができる“強い力”を持つのが、スポーツの魅力です。そんな「スポーツの力」は、アスリートだけでなく子供たちにもあると確信しています。そこで関青年会議所では、チームスポーツを通じて地域の未来を担う子供たちに成長の場を用意します。チームスポーツは誰かに指示される前に自分で考え、実践する行動力や様々な局面に立ち向かえる勇気を身に付け、さらには目標にチャレンジし、乗り越えることで自信を持つことができます。このように、子供たちにはチームスポーツを通じて課題を解決する思考力や行動力を高めていただき、実生活に活かしていただきたいと思えます。

地域の方々から本事業への理解と賛同をいただくには、委員会メンバー皆様の協力が必要不可欠です。一人ひとりが与えられた役割を全うし、本事業を成功させることで委員会メンバー全員が輝ける組織を実現します。皆様1年間、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

【事業計画】

事業名	内容（目的・方法等）
4月例会（JCカップin関）	スポーツを通じた青少年育成事業

【事業予算】

事業名	予算額	予算明細
4月例会（JCカップin関）	¥300,000	会場費、広告費、記念品
合計	¥300,000	

【委員会年間スケジュール】		
1月		(通年)
2月		
3月		
4月	4月例会（JCカップin関）	
5月		
6月		
7月		
8月		
9月		
10月		
11月		
12月		

一般社団法人 関青年会議所
2023年度 正味財産増減計算書(予算書)
自 2023年1月1日
至 2023年12月31日

(単位:円)

科 目	2023年当初予算	2022年決算	差 異	2023年度 摘 要
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 受取入金	30,000	65,000	△ 35,000	(受取入金) 新入会員 30,000円 × 1名 特別会員 60,000円 × 0名
受取入金	30,000	65,000	△ 35,000	交代会員 5,000円 × 0名
② 受取会費	3,820,000	3,750,000	70,000	(受取会費) 正会員 100,000円 × 22名 7月入会 50,000円 × 0名 準会員 20,000円 × 1名 賛助会員 10,000円 × 160社 産休会員 30,000円 × 0名
正会員受取会費	2,200,000	2,000,000	200,000	
7月入会正会員受取会費	0	50,000	△ 50,000	
準会員受取会費	20,000	40,000	△ 20,000	
賛助会員受取会費	1,600,000	1,660,000	△ 60,000	
正会員(産休中)受取会費	0	0	0	
③ 事業収益	0	0	0	
登録料収益	0	0	0	
中青会LOM登録料	0	0	0	
④ 受取補助金等	0	0	0	
受取地方公共団体助成金	0	0	0	
受取民間助成金	0	0	0	
⑤ 受取寄付金	0	0	0	
受取寄付金	0	0	0	OB会寄付金
⑥ 雑収益	42,000	86,129	△ 44,129	
受取利息	0	69	△ 69	
雑収益	42,000	86,060	△ 44,060	JCカード還付金、OB会通信費等
経常収益計	3,892,000	3,901,129	△ 9,129	
(2) 経常費用				
① 事業費	1,323,000	1,108,757	214,243	
諸謝金	160,000	110,800	49,200	
給与手当	0	0	0	
旅費交通費	105,000	105,000	0	
消耗品費	198,000	156,516	41,484	
通信費	1,000	380	620	
広告宣伝費	380,000	329,480	50,520	
租税公課	0	0	0	
保険料	85,000	57,950	27,050	
賃借料	0	83,878	△ 83,878	
会場費	264,000	110,950	153,050	
会議費	20,000	0	20,000	
研修費	0	0	0	
印刷製本費	50,000	775	49,225	
委託費	30,000	135,805	△ 105,805	
雑費	30,000	122,223	△ 92,223	
委員会運営費	0	0	0	
② 管理費	1,966,000	1,966,674	△ 674	
会議費	20,000	0	20,000	(会議費) 会場費、次第
給与手当	0	0	0	
福利厚生費	0	0	0	
旅費交通費	0	0	0	
通信費	220,000	257,582	△ 37,582	(通信費) 電話、インターネット、FAX
消耗品費	160,000	16,053	143,947	(消耗品費) コピー用紙、掃除用品、賞状、ファイル、トイレ用ペーパー等
賃借料	0	0	0	
印刷製本費	20,000	0	20,000	(印刷製本費) トナー代
地代家賃	480,000	480,000	0	(地代家賃) 事務局家賃 40,000円 × 12ヶ月
支払手数料	75,000	55,292	19,708	(支払手数料) 登記費用
渉外費	200,000	134,016	65,984	(渉外費) 香典等
修繕費	20,000	0	20,000	
光熱水道費用	220,000	208,100	11,900	(光熱水料費) 電気代・水道代
火災保険料	11,000	11,260	△ 260	(火災保険料) 事務局火災保険
業務委託費	300,000	472,051	△ 172,051	(業務委託費) スローガン・ネームプレート・所信表明動画
諸会費	90,000	156,650	△ 66,650	(諸会費) 各種大会登録料・BCスポーツ大会登録料・各協会会費
雑費	120,000	175,670	△ 55,670	(雑費) 手数料・法人県民税・法人市民税・雑費
予備費	30,000	0	30,000	(予備費)
③ 負担金	442,554	400,769	41,785	
JCI負担金	41,404	35,105	6,299	(\$ 13*144円) 1,882円 × 22名
日本JC基本額	30,000	30,000	0	
日本JC賦課金	110,000	102,500	7,500	5,000円 × 22名
日本JC出向者負担金	0	0	0	20,000円 × 0名
国際協力資金	40,150	38,164	1,986	1,825円 × 22名
地区協議会負担金	55,000	50,000	5,000	2,500円 × 22名
ブロック協議会基本額	10,000	10,000	0	
ブロック協議会賦課金	66,000	60,000	6,000	3,000円 × 22名
ブロック協議会出向役員負担金	0	0	0	0円 × 4名
ブロック協議会負担金	55,000	50,000	5,000	2,500円 × 22名
中青会負担金	25,000	25,000	0	
関市まちづくり協議会協力金	10,000	0	10,000	
④ 他会計からの繰入金支出	100,000	100,000	0	
特別会計繰入金への支出	100,000	100,000	0	
経常費用計	3,831,554	3,576,200	255,354	
当期経常増減額	60,446	324,929	△ 264,483	
2. 経常外増減の部	0	0	0	
(1) 経常外収益	0	0	0	
(2) 経常外費用	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	60,446	324,929	△ 264,483	
一般正味財産期首残高	8,755,269	8,430,340	324,929	
一般正味財産期末残高	8,815,715	8,755,269	60,446	
II 指定正味財産増減の部	0	0	0	
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III 正味財産期末残高	8,815,715	8,755,269	60,446	

関青年会議所歴代理事長

No	年度	歴代理事長名	スローガン	会員数
1	1958年度	河村成勝	世界を結ぶ青年の力	46名
2	1959年度	亀井武司	若い力で経済建設	51名
3	1960年度	松田好一	JCの力で築こう明るい社会	54名
4	1961年度	田中次郎	JCの一人一人が社会の希望	58名
5	1962年度	小瀬木義博	JCは明日の世界の道しるべ	64名
6	1963年度	後藤司朗	経済の正しい成長になえJC	58名
7	1964年度	浅野英市郎	JCの若さで結べ世界は一つ	60名
8	1965年度	長村 勇	新時代築く若さと指導力	63名
9	1966年度	神谷 守	福祉国家創るさきがけ果たせJC	60名
10	1967年度	平田康夫	和をもって責任ある行動を	65名
11	1968年度	宮地 進	日本に正しい行くてしめせJAYCEE	59名
12	1969年度	石原鎗三	JAYCEEの総意で示せ日本の姿勢	61名
13	1970年度	福田莞爾	70年代への勇気ある挑戦を	59名
14	1971年度	神谷 清	JCマンとして指導力と決断力を養おう	60名
15	1972年度	服部 昇	変革に対応できる指導力を	74名
16	1973年度	加藤耕三	人間的な成長を基にJC運動を	76名
17	1974年度	薫田健吾	すがすがしいJC運動を	84名
18	1975年度	坂井敏明	愛と心全ての事業へ深い関心と理解を行動には心を	94名
19	1976年度	兼松誠吾	厳しくかえり見よう20年の歩み	101名
20	1977年度	齋藤榮一	思考と行動語ろう明日の刀都	102名
21	1978年度	石丸継治	友愛と協調	100名
22	1979年度	清水公男	朗らかにさわやかに一丸となって高めよう価値あるJC運動	99名
23	1980年度	平田賢一郎	燃やせ情熱絶やさぬ炎響け鎚音豊かな未来	101名
24	1981年度	山田武司	挑戦と創造	96名
25	1982年度	遠山義勝	みなおそう25年の歩み考えよう明日のわがまち	95名
26	1983年度	兼松克司	高めよう国際感覚はぐくもう創造性豊かな心	95名
27	1984年度	炭竈好司	燃やせ情熱勇気ある挑戦	103名
28	1985年度	吉田房生	創造と努力新たな鎚音	101名
29	1986年度	森 俊雄	大地を踏みしめ今出発輝く未来をめざして	102名
30	1987年度	渡辺孝雄	挑戦する心	103名
31	1988年度	清水善光	合意と実行	111名
32	1989年度	鈴木良春	21世紀(あす)へ転換期からの発信	112名
33	1990年度	後藤明彦	DO IT NOW	100名
34	1991年度	山田正樹	夢・無限大 DYNAMIC INNOVATION	101名
35	1992年度	田中 彰	<感><動> 一変革をめざして一	104名
36	1993年度	遠藤宏治	深思考 新展開	106名
37	1994年度	伊佐地英俊	まちにひとに夢の架け橋を ただひたすらに、ただひたむきに	103名
38	1995年度	清水 徹	心を尽くし、思いを尽くし、力を尽くす	105名
39	1996年度	浅野欽一郎	Break Through (ブレイクスルー)	104名

関青年会議所歴代理事長				
No	年度	歴代理事長名	スローガン	会員数
40	1997年度	井森一夫	「礎」=未来(あす)を目指して=	107名
41	1998年度	中田守彦	絆を生かし めざせ共創社会	98名
42	1999年度	坂井一三	心・絆・まち～思いやりの心が未来を創る～	90名
43	2000年度	土屋泰弘	感動 WE CAN DO IT	81名
44	2001年度	片岡稔喜	START UP 21	74名
45	2002年度	兼松誠司	活力	69名
46	2003年度	加藤浩二	DO ONE'S BEST ～夢の実現のために～	65名
47	2004年度	西村竜一	大変革の時代、その当事者たれ 今、私が、ここから	64名
48	2005年度	加藤和洋	JC道場 愛・夢・元気	64名
49	2006年度	木村 聡	志 ～大志を抱き、自らの意志で～	66名
50	2007年度	古田貴巳	響け！ 関JCシンフォニー～誇りと使命感をもって～	64名
51	2008年度	松田一浩	夢を語らい、想いを遂げる ENJOY JC	60名
52	2009年度	金田尚之	不易流行～真理を知りて新たな道あり～	54名
53	2010年度	吉田宰志	SMILE～笑顔あふれる未来づくり～	58名
54	2011年度	森 俊輔	誠実 ひたむき～まちを愛する志民の創出～	62名
55	2012年度	宮部英門	清泉湧出 ～あたたかい思いやりの心が溢れるまちの創造～	55名
56	2013年度	杉浦康弘	We are all one ～共に踏み出そう新たな一歩を～	46名
57	2014年度	宮本覚道	報恩感謝～喜びあふれる未来へ向かって～	42名
58	2015年度	大須賀敏	挑戦 ～ おもいをカタチにするために ～	40名
59	2016年度	山田和正	原点回帰 ～輝く未来へ向かって～	37名
60	2017年度	鈴木恵介	自創 ～ 明日のために今を生きる ～	38名
61	2018年度	加藤正文実	鍛錬 ～ 自らを鍛え、まちの未来を切り開く～	40名
62	2019年度	小島祐治	率先励行 ～ 今と未来を繋ぐために ～	38名
63	2020年度	山中孝浩	行動力～その一歩が希望に満ちた未来を創る～	28名
64	2021年度	田中雄貴	和すれば強し	22名
65	2022年度	多田幸泰	強いJCへ、そして強いJAYCEEへ	21名
66	2023年度	森 有生	変化を乗り越え、最高の結果に変える。	22名